

令和5年度卒業式 式辞

柔らかな日差しに春の訪れを感じる今日の佳き日に、野々市市長 粟 貴章様、PTA代表 梅野 美穂様をはじめ、来賓の方々のご臨席を賜り卒業証書授与式を執り行うことができますことに心よりお礼申し上げます。卒業証書を手にした皆さん、卒業おめでとうございます。

保護者の皆様にも、お祝いを申し上げます。今日という節目に、これまでの道筋を思い出され、感慨もひとしおのことと存じます。

小学部の皆さんは、先生や友達と一緒に活動しながら勉強する楽しさを学び、安定して過ごす力が育ちました。文化祭では、「2023年☆宇宙の旅」をテーマに演奏やダンス発表など、6年生で積み上げた成果を発表しました。あの時のように、中学部に進んだら、仲間と協力しながら新しい学習に取り組んでください。

中学部の皆さんは、明るく個性豊かな学年です。修学旅行では、関西に行きUSJなどを見学しました。県外に出かけても宿泊を伴う団体行動がしっかりできていました。解散式で見せた満足した表情から、旅行をとおして皆さんの成長を実感することができました。進学先では、3年間をとおして自立と社会参加につながる力を身に付けてください。

高等部の皆さんは、一人一人が自分らしい個性を持つ学年でした。授業や体育祭等の行事、職場実習などをとおして、自信や周りの人への思いやりが身につき、大人になったなあと感心しました。学校には校訓があり、大事にしてほしい目標が書いてあります。本校は、「明るく、仲よく、たくましく」の3つです。

この3年間を振り返ると、活動制限や一月の能登半島地震など、予測が難しい災害等が起き、その都度戸惑いがあったことと思います。それでも、置かれた状況の中で最大限努力する皆さんには「困難を乗り越える力」、つまり、校訓の「たくましさ」が育ったように感じます。この校訓は、未来の心構えにもなる言葉です。卒業後も、新しい環境で「明るく、仲よく、たくましく」を大切に、自分らしさを磨いてください。

終わりに、私たち教職員はいつまでも皆さんを応援しています。それぞれの道で健やかに歩み続けていくことを祈念して、式辞といたします。

令和六年三月八日

石川県立明和特別支援学校長 岡部 康英